

杉戸町立杉戸小学校 令和7年度 学校評価(学校自己評価・学校関係者評価)

評価項目	目標	具体的取組	指標 (指標ごとの評価)	自己評価		改善策	学校関係者評価	
				評価	達成状況(成果・課題)		評価	意見・要望・支援策等
確かな学力	教室を学びの空間として整え「主体的・対話的で深い学び」への授業改革を図ることで、すべての児童の学力(自立して学ぶ力)を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校課題研修を通して、育成を目指す3つの資質・能力の重要性の理解を図る。 ・「教室を学びの空間に」の確認、共通理解・共通実践を徹底する。 ・OPPシートを活用し振り返りの時間を確保する。(メタ認知、振り返りの質の向上) ・教育資源(ICT機器、ドリル、辞書等)の効果的に活用するとともに、その有用性を児童に実感させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の児童の姿(変容) ・児童の振り返り(OPPシート)の内容(変容) ・児童、教職員アンケート「確かな学力」「温かな人間関係」の項目において90%、保護者アンケートにおいて85%達成 ・11月の総合学力調査の達成率、全学年全国平均値以上 	b	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた教室環境の中で、多くの児童が集中して学習に取り組む姿が見られた。 ・児童主体の学習スタイルが増え、受け身ではなく自ら考え、対話しながら学ぶ姿勢が定着しつつある。 ・学習の終末における振り返りでは、自分の学びを見つめ直し、次につなげようとする記述が増加し、メタ認知の質的向上が見られる。 ・「授業内容の理解」アンケート結果 児…92.4%,教…83.3%,保…84.6%(△) ・「温かな人間関係」アンケート結果 児…96.2%,教…80.0%,保…91.2%(○) ・「家庭学習を進んで行う」アンケート結果 児…75.2%,教…55.1%,保…63.4%(×) ・総合学力調査達成率全国比較(国語4学年、算数1学年) ・学校図書館の貸出冊数は9,376冊となり、読書活動は定着しているが、学年間差が見られるため、読書の質の向上を含めた取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの定着、質の向上を目指して、教師側の教材研究、授業準備の時間を確保する。 ・授業改革(主体的・対話的で深い学び)への保護者理解を促す情報発信の工夫・改善を図る。 ・子供一人一人の主体性を引き出す授業改革を推進することで、学びに向かう力を高め家庭学習の充実につなげる。 ・家庭学習に関して保護者との共通理解を図る情報発信を充実させる。 ・授業、家庭学習を含めた学習観の変化を保護者、地域へ発信する。 ・更なる学校図書館の充実を関係機関に働きかける。 	b	<ul style="list-style-type: none"> ・学習規律(特に正しい姿勢、正しい腰の位置、机と椅子のバランス等)を全校挙げ徹底し、学年・学級・教科間で生徒指導上の認識のずれをつくらない。 ・確かな学力、家庭学習の積み上げ等は、家庭の協力は必須である。手引き等を活用しながら連携強化に努める。 ・「主体的・対話的で深い学び」への授業改革による成果が表れてきている。今後も児童の姿を検証しながら、更なる向上を目指して取り組んでほしい。 ・タブレットのみの宿題では、家庭での協力が難しい。多様な取組が必要ではないか。
	子供たち一人一人が主体的に学ぶための基礎力・学習スキルの育成を図る。 すべての学びの基礎となる国語力(シン読解力等)の向上を意識した授業、取組を家庭を巻き込んで学校全体で推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的学びの充実結び付く基礎力、学習スキルの向上(語彙力、聴く・話す・書くスキル)に向けた取組を推進する。 ・国語力向上に向けた校内研修の充実と授業実践を推進する。 ・保護者との連携、協働による家庭学習の取組を充実させる。 ・司書教諭を中心とした図書部による読書環境の充実を図る。(読書量、読書の質の向上) 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の児童の姿(変容) ・児童の家庭学習の内容(変容) ・児童、教職員アンケート「確かな学力」の項目において90%、保護者アンケートにおいて85%達成 ・総合学力調査の達成率、全学年全国平均値以上 ・RSTの個人正答率全国平均値以上 ・児童の読書に対する姿(変容)、読書量 	b	<ul style="list-style-type: none"> ・児童主体の授業や学級経営の推進により、児童の意識や教員の指導観にも変化が見られた。特に主体的に挑戦する姿勢や自ら関わろうとする態度が育ちつつある。 ・「温かな人間関係」アンケート結果 児…96.2%,教…80.0%,保…91.2%(○) ・「適切な言葉遣い」アンケート結果 児…77.4%,教…46.7%,保…78.4%(×) ・「進んであいさつ」アンケート結果 児…79.1%,教…60.0%,保…68.5%(×) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の発達段階は踏まえつつ、研修を通して学年間、学級間の差がなるべく少ない学級経営の充実を図る。 ・働き方改革を意識しながら、児童の主体性、豊かな心の育成を図る活動、授業の充実を学校全体で進める。 ・「適切な言葉遣い」「進んであいさつ」については、家庭を巻き込んだ取り組みを検討していく。 		b
豊かな心	児童の思いや考えを大切にされた教育活動を推進する。特に子供たちのアイデアや意欲を引き出せるような学校行事、学級経営を全校で推進することで、児童の非認知能力(自己肯定感)を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発達段階に応じ児童の主体性を大切にされた学級経営を充実させる。 ・特別活動、学級活動(話し合い活動)の充実 ・児童の主体性を大切にされた日々の授業の実践 ・総合的な学習の時間(MM)を通して、児童の主体性、自己肯定感を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活における児童の姿(変容) ・授業中の児童の姿(変容) ・児童、教職員アンケート「豊かな心」の項目において90%、保護者アンケートにおいて90%達成 	b	<ul style="list-style-type: none"> ・児童主体の授業や学級経営の推進により、児童の意識や教員の指導観にも変化が見られた。特に主体的に挑戦する姿勢や自ら関わろうとする態度が育ちつつある。 ・「温かな人間関係」アンケート結果 児…96.2%,教…80.0%,保…91.2%(○) ・「適切な言葉遣い」アンケート結果 児…77.4%,教…46.7%,保…78.4%(×) ・「進んであいさつ」アンケート結果 児…79.1%,教…60.0%,保…68.5%(×) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の発達段階は踏まえつつ、研修を通して学年間、学級間の差がなるべく少ない学級経営の充実を図る。 ・働き方改革を意識しながら、児童の主体性、豊かな心の育成を図る活動、授業の充実を学校全体で進める。 ・「適切な言葉遣い」「進んであいさつ」については、家庭を巻き込んだ取り組みを検討していく。 	b	<ul style="list-style-type: none"> ・MM(総合的な学習の時間)の取組は、各自の探究活動が深まれば楽しいと感じる。授業公開での発表会も、保護者としてはとても楽しみにしている。取組の個人差が大きいことが気になる。 ・楽しく学校生活を送っている児童が多いということである。 ・あいさつに関してはもう少し元気さ、明るさがあるとよい。
	すすんであいさつ、適切な言葉遣い、礼儀正しい行動等、周りの人を意識し、大切にされた言動のできる児童を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校でも 家でも 地域でも 気持ちのよいあいさつ」を奨励する。(学校運営協議会・保護者との連携) ・適切な言葉遣いや礼儀正しい行動の共通理解と指導を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活における児童の姿(変容) ・児童、教職員、保護者アンケート「豊かな心」の項目において80%達成 ・学校運営協議会委員、保護者の見取り 	b	<ul style="list-style-type: none"> ・児童主体の授業や学級経営の推進により、児童の意識や教員の指導観にも変化が見られた。特に主体的に挑戦する姿勢や自ら関わろうとする態度が育ちつつある。 ・「温かな人間関係」アンケート結果 児…96.2%,教…80.0%,保…91.2%(○) ・「適切な言葉遣い」アンケート結果 児…77.4%,教…46.7%,保…78.4%(×) ・「進んであいさつ」アンケート結果 児…79.1%,教…60.0%,保…68.5%(×) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の発達段階は踏まえつつ、研修を通して学年間、学級間の差がなるべく少ない学級経営の充実を図る。 ・働き方改革を意識しながら、児童の主体性、豊かな心の育成を図る活動、授業の充実を学校全体で進める。 ・「適切な言葉遣い」「進んであいさつ」については、家庭を巻き込んだ取り組みを検討していく。 	b	<ul style="list-style-type: none"> ・MM(総合的な学習の時間)の取組は、各自の探究活動が深まれば楽しいと感じる。授業公開での発表会も、保護者としてはとても楽しみにしている。取組の個人差が大きいことが気になる。 ・楽しく学校生活を送っている児童が多いということである。 ・あいさつに関してはもう少し元気さ、明るさがあるとよい。
健やかな体	児童の体力向上、心身の健康維持増進を家庭を巻き込んで、学校全体で推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・運動量を確保した体育授業を実践する。 ・児童にとって楽しい体育授業、体育的行事、諸活動を計画、実施する。 ・家庭への情報発信、協力依頼を年間通して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の児童の姿(変容) ・休み時間の児童の姿(変容) ・児童、教職員、保護者アンケート「健やかな体」の項目において85%達成 	b	<ul style="list-style-type: none"> ・児童主体の授業や学級経営の推進により、児童の意識や教員の指導観にも変化が見られた。特に主体的に挑戦する姿勢や自ら関わろうとする態度が育ちつつある。 ・「温かな人間関係」アンケート結果 児…96.2%,教…80.0%,保…91.2%(○) ・「適切な言葉遣い」アンケート結果 児…77.4%,教…46.7%,保…78.4%(×) ・「進んであいさつ」アンケート結果 児…79.1%,教…60.0%,保…68.5%(×) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の発達段階は踏まえつつ、研修を通して学年間、学級間の差がなるべく少ない学級経営の充実を図る。 ・働き方改革を意識しながら、児童の主体性、豊かな心の育成を図る活動、授業の充実を学校全体で進める。 ・「適切な言葉遣い」「進んであいさつ」については、家庭を巻き込んだ取り組みを検討していく。 	b	<ul style="list-style-type: none"> ・MM(総合的な学習の時間)の取組は、各自の探究活動が深まれば楽しいと感じる。授業公開での発表会も、保護者としてはとても楽しみにしている。取組の個人差が大きいことが気になる。 ・楽しく学校生活を送っている児童が多いということである。 ・あいさつに関してはもう少し元気さ、明るさがあるとよい。
	保護者との連携を図りつつ基本的な生活習慣を整え、学校全体で健康教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士等や保健師等の外部講師や養護教諭との連携による保健教育を充実する。 ・家庭との連携、協力によるむし歯予防と早期治療を推進する。 ・全校的な視力低下の実態を把握するとともにその対策を講じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中、学校生活における児童の姿(変容) ・児童、教職員、保護者アンケート「健やかな体」の項目において85%達成(正しい姿勢70%) ・むし歯治療率90%達成 	b	<ul style="list-style-type: none"> ・児童主体の授業や学級経営の推進により、児童の意識や教員の指導観にも変化が見られた。特に主体的に挑戦する姿勢や自ら関わろうとする態度が育ちつつある。 ・「温かな人間関係」アンケート結果 児…96.2%,教…80.0%,保…91.2%(○) ・「適切な言葉遣い」アンケート結果 児…77.4%,教…46.7%,保…78.4%(×) ・「進んであいさつ」アンケート結果 児…79.1%,教…60.0%,保…68.5%(×) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の発達段階は踏まえつつ、研修を通して学年間、学級間の差がなるべく少ない学級経営の充実を図る。 ・働き方改革を意識しながら、児童の主体性、豊かな心の育成を図る活動、授業の充実を学校全体で進める。 ・「適切な言葉遣い」「進んであいさつ」については、家庭を巻き込んだ取り組みを検討していく。 	b	<ul style="list-style-type: none"> ・MM(総合的な学習の時間)の取組は、各自の探究活動が深まれば楽しいと感じる。授業公開での発表会も、保護者としてはとても楽しみにしている。取組の個人差が大きいことが気になる。 ・楽しく学校生活を送っている児童が多いということである。 ・あいさつに関してはもう少し元気さ、明るさがあるとよい。
学校独自	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を実現しすべての子供たちを自立した学習者へと育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を核として育成を目指す資質・能力3つの柱の再確認と学校全体での共通理解、共通実践を徹底する。 ・日々の授業充実を目指し、相互授業参観等教師自らが授業改革に取り組む体制を整備する。 ・ICT環境充実と効果的、積極的活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の児童の姿(変容) ・教員の研修に取り組む姿勢(変容) ・児童の振り返りの内容(変容) ・児童、教職員アンケート「確かな学力」「温かな人間関係」の項目において85%、保護者アンケートにおいて80%達成 	b	<ul style="list-style-type: none"> ・児童主体の授業や学級経営の推進により、児童の意識や教員の指導観にも変化が見られた。特に主体的に挑戦する姿勢や自ら関わろうとする態度が育ちつつある。 ・「温かな人間関係」アンケート結果 児…96.2%,教…80.0%,保…91.2%(○) ・「適切な言葉遣い」アンケート結果 児…77.4%,教…46.7%,保…78.4%(×) ・「進んであいさつ」アンケート結果 児…79.1%,教…60.0%,保…68.5%(×) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の発達段階は踏まえつつ、研修を通して学年間、学級間の差がなるべく少ない学級経営の充実を図る。 ・働き方改革を意識しながら、児童の主体性、豊かな心の育成を図る活動、授業の充実を学校全体で進める。 ・「適切な言葉遣い」「進んであいさつ」については、家庭を巻き込んだ取り組みを検討していく。 	b	<ul style="list-style-type: none"> ・MM(総合的な学習の時間)の取組は、各自の探究活動が深まれば楽しいと感じる。授業公開での発表会も、保護者としてはとても楽しみにしている。取組の個人差が大きいことが気になる。 ・楽しく学校生活を送っている児童が多いということである。 ・あいさつに関してはもう少し元気さ、明るさがあるとよい。
	すべての児童が安心して学べる学校づくりを推進する。(児童、保護者、地域とのゆるぎない信頼関係の構築)	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな不登校児童を生まない学校、教育環境(ホットルーム)を整備する。(発達支持的生徒指導推進) ・不登校(傾向)児童、保護者との関係性の構築と支援体制を充実する。 ・保護者への情報提供、相談機関、関係機関の情報を積極的に提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校(傾向)児童の出席状況、姿(変容) ・不登校(傾向)児童保護者の声、姿(変容) ・教室にいられない、教室での学びにない子供たちの姿(変容) 	b	<ul style="list-style-type: none"> ・児童主体の授業や学級経営の推進により、児童の意識や教員の指導観にも変化が見られた。特に主体的に挑戦する姿勢や自ら関わろうとする態度が育ちつつある。 ・「温かな人間関係」アンケート結果 児…96.2%,教…80.0%,保…91.2%(○) ・「適切な言葉遣い」アンケート結果 児…77.4%,教…46.7%,保…78.4%(×) ・「進んであいさつ」アンケート結果 児…79.1%,教…60.0%,保…68.5%(×) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の発達段階は踏まえつつ、研修を通して学年間、学級間の差がなるべく少ない学級経営の充実を図る。 ・働き方改革を意識しながら、児童の主体性、豊かな心の育成を図る活動、授業の充実を学校全体で進める。 ・「適切な言葉遣い」「進んであいさつ」については、家庭を巻き込んだ取り組みを検討していく。 	b	<ul style="list-style-type: none"> ・MM(総合的な学習の時間)の取組は、各自の探究活動が深まれば楽しいと感じる。授業公開での発表会も、保護者としてはとても楽しみにしている。取組の個人差が大きいことが気になる。 ・楽しく学校生活を送っている児童が多いということである。 ・あいさつに関してはもう少し元気さ、明るさがあるとよい。